NEXT STAGE　2024　秋号

伊奈高だより

茨城県立伊奈高等学校　http://www.ina-h.ibk.ed.jp
Tel 0297-58-6175　Fax 0297-58-9248

― 紙面から ―

1面　令和6年度学校説明会(秋)概要
　　令和7年度入学者選抜における特色
　　選抜実施概要
2面　「1日体験入学」を振り返って／文化祭
3面　各種行事・生徒の活動
4面　部活動の記録

令和6年度学校説明会〔秋〕 概要

１　日　　時　　令和6年11月2日(土)　9:45～12:30
２　対　　象　　中学校及び保護者・中学校関係者
３　募集期間　　10月1日(火)～10月23日(水)
４　申込方法　　Web(Google　Form)による申込み
５　内　　容　　授業概要説明、部活動見学　他
６　日　　程　　・　9:45～10:55　受　付
・　9:55～10:45　授業公開
・10:55～11:40　学校概要説明
・中学生:本校生徒による説明
・保護者:本校教員による説明
・11:45～12:30　部活動見学　(当日実施できる部活動対象)・施設見学等



◇◇◇◇◇◇◇令和7年度入学者選抜において特色選抜を実施する部活動◇◇◇◇◇◇◇

・野球部(男)　・バスケットボール部　・サッカー部(男)　・ハンドボール部　・剣道部
・陸上競技部　・バドミントン部　・卓球部　・バレーボール部(男)　・吹奏楽部

※詳細は本校HPまで



充実の4ルートでスクールバス運行中！

つ く ば 東　コース

No.	登校	バス停名	乗降車位置	下校	
1	7:23	竹園	UR賃貸住宅　竹園　前	17:42	19:57
2	7:28	並木	並木大橋下(東大通り側道)	17:37	19:52
3	7:35	二の宮	路線バス『二の宮』バス停	17:30	19:45
4	7:40	松代	手代木団地バス停	17:25	19:40
5	7:55	谷田部	旧谷田部庁舎(R354沿い)	17:10	19:25
6	8:15	みらい平駅	みらい平駅ロータリー	16:50	19:05
	8:30	伊奈高校	ロータリー	*16:40*	*18:55*

つ く ば 西　コース　(※40人乗り)

No.	登校	バス停名	乗降車位置	下校	
1	7:25	筑穂	大穂窓口センター前	17:45	20:00
2	7:40	豊里の杜	ヨークベニマル豊里店前	17:30	19:45
3	7:45	東光台	ホテル東光横コインランドリー前	17:25	19:40
4	7:50	研究学園	研究学園西バス停	17:20	19:35
5	8:00	万博記念公園駅	万博公園駅入り口	17:10	19:25
6	8:10	みどりの駅	みどりの駅東口ロータリー	17:00	19:15
	8:30	伊奈高校	ロータリー	*16:40*	*18:55*

常　総　・　坂　東　コース①　※下校2便目は①②コースを1台にて運行

No.	登校	バス停名	乗降車位置	下校	
1	7:30	岩井	筑波銀行　岩井支店前	17:40	20:05
2	7:40	猫実	前山倉庫株式会社前	17:30	19:55
3	7:45	豊岡	旧うおまつ　豊岡店前	17:25	19:50
4	7:55	水海道駅	水海道駅北口ロータリー	17:15	19:40
5	8:10	久保ヶ丘	モコバス御所ヶ丘バス停	17:00	19:25
	8:30	伊奈高校	ロータリー	*16:40*	－

常　総　・　坂　東　コース②

No.	登校	バス停名	乗降車位置	下校	
1	8:00	小絹	携帯電話ショップTOP1谷和原店駐車場	17:15	19:30
2	8:15	守谷駅	TX守谷駅西口　タリーズコーヒー前	17:00	19:15
3	8:20	南守谷	お好み焼き道とん堀前	16:55	19:10
	8:35	伊奈高校	ロータリー	*16:40*	*18:55*

常総・坂東コース下校便2便目は①②の合同コースになります。

※　バス停および時刻の変更がある可能性があります。
次年度の変更点は1 月中旬頃に本校ホームページに掲載します。

「中学生一日体験入学」「 文化祭」



7 月29 日(月)・30 日(火)に、本校にて「中学生一日体験入学」が行われ、2日間で中学生・保護者合わせて827名(前年比+45名)の方々にご参加いただきました。学校概要説明、模擬授業、部活動見学・体験等が実施され、伊奈高校についてより理解を深めてもらう機会になったようです。本校の在校生も総勢113名がボランティアとして参加しました。一日体験入学の運営に大きく貢献してくれました。

ー1日体験ボランティアを終えて
飯田　乃愛（3年　谷和原中学校出身）

私は人前に立って話すことや目立つことが苦手ですが、伊奈高校の魅力を伝えられたらいいなと思い参加しました。
当日は接待係として入口に立って挨拶をしたり、部活動の活動場所へ案内したりしました。最初は話しかけることに緊張していましたが、活動していくうちに自分から案内ができるようになりました。また、自分自身も成長できたので、参加して良かったと思います。

一日体験のボランティアに参加して
梅津　大翔（3年　御所ケ丘中学校出身）

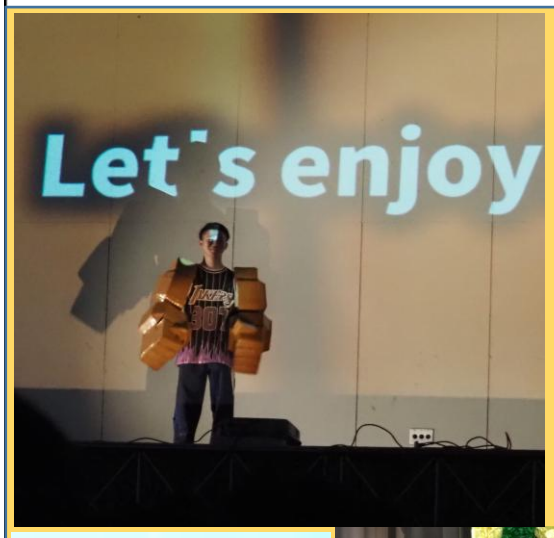
私は、主に中学生の質問に答えたり、模擬授業のサポートを行ったりしました。
中学生たちは初めての環境で初対面の人たちに緊張している様に見えました。私は中学生たちに緊張をほぐして貰おうと、笑顔で常に周りを見て助けの手を差し伸べることを意識するようにしました。そして模擬授業も終盤になるにつれて中学生たちは楽しそうに授業を受けてくれました。
模擬授業も終わって中学生たちが笑顔で帰っていく姿を見てとても達成感を感じました。このボランティアに参加してよかったです。











文化祭を終えて
鴨志田　駿(3年　小絹中学校出身)

文化祭は生徒達が自分の得意なことや、やりたいこと、個性を存分に発揮できる場だと思っています。ステージ発表は一人一人の一挙手一投足が輝き、出し物は各クラスの色が出ていて、まさにスローガンである”INAREAL～これが伊奈高生の日常だ～”を体現していたと思います。 実行委員もどのようにしたら生徒や来場者の方たちが楽しめるか模索しながら各制作班が一生懸命取り組んでいました。来年も伊奈高らしいエネルギッシュで個性溢れる最高の文化祭を開催できることを心から願っています。















探究活動「グローカルにミライ探究」

浅草街歩き		留学生と浅草散策：異文化交流・異文化理解
TGG 英語体験学習		TOKYO GLOBAL GATEWAYでの英語活動
つくばみらい市 市民懇談会		つくばみらい市の支援による「まちづくり」探究 地域の未来を考える視点を得る
市役所 インターンシップ		つくばみらい市役所の各部署での就業体験

TGGに参加して
小林　李実（2年　市ヶ尾中学校出身）

私は今回TGGを訪れ、さまざまな経験をすることができました。TGGでは英語だけを使い、ネイティブの方と交流を図ります。最初は英語だけで交流することに不安がありましたが、自分が話したことが相手に伝わっていると感じられることが多々ありました。こうした成功体験は、普段の生活の中ではなかなか得ることができません。

私は、TGGに参加し「実際に伝わるかどうかよりも伝えようとする気持ち」が大切なのだと感じました。これは英会話における重要な姿勢なのだと思います。これらの貴重な体験をさせていただ いたTGGスタッフの方々には本当 に感謝しています。もしまた 機会があれば、もう一度訪れ今回学 んだ知識・経験を活かして新たな 発見を得たいと思いました。





TGGに参加して
小島　颯太郎（2年　水海道西中学校出身）

私はTGGに参加し、英語を学ぶことの面白さ、仲間との協力の大切さを学びました。 はじめは緊張していたのですが、ネイティブのスタッフの方々と自己紹介やゲームなどを行って交流を少しづつ深めていきました。

午前中のミッションでは様々な場面に合わせて、自分の考えを英語で話しました。自分の考えを英語で話す際、ネイティブのスタッフに聞かれた質問に対して、もっと具体的に答えることができたらよいと感じました。グループワークの際には、わからないことはお互いに協力し合って、英語の学びを深める事ができました。

TGGに参加するまでは自分の英語が伝わるのか不安でしたが、実際に体験することで、自分たちが学習してきた英語でも考えが伝わることを実感しました。
また、何より積極的に自分から英語で話すことが大切だと感じました。

ネイティブのスタッフの方々と英語を楽しく学ぶことができ、とても貴重な体験になりました。今回得ることができた経験をこれからの学校生活や進路に活かしていきたいと思います。



市民懇談会に参加して
戸塚　亮輔（3年　水海道西中学校出身）

私は、「若者の投票率を上げるには」というテーマで、仲間とともに探究活動を行ってきました。そして、市民懇談会において、市長はじめ多くの市幹部の皆様や全校生徒に対し、その成果を発表することができました。

探究活動では、若者の投票率が低迷している原因や背景、外国の状況などを調査し、その結果を踏まえ投票率向上のための政策を考え、提言しました。発表後、市長からは共感のお言葉をいただきましたが、景品を配ることで投票率向上を目指すという私達のアイデアに対しては、厳しいご指摘もいただきました。このことを通じ、投票率向上を通じて社会を良くするためには、単に投票率を上げれば良いのでなく、本気でこの候補者に託したい、世の中を少しでも変えたいという投票を多く生み出すことが必要であると学びました。



18歳になり、私も選挙権を得ることできました。この「清き一票」を大事使っていきたいと思います。

市役所インターンシップに参加して
井上　咲衣（2年　伊奈東中学校出身）

8月5日にインターンシップでおやこ・まるまるサポートセンターに行き、職業体験をさせて頂きました。今回体験させて頂いた内容は、離乳食教室の見学、離乳食教室へ参加した保護者のお子さんや子育て支援室BLOOMへ来られた方のお子さんとの触れ合いなどです。おやこ・まるまるサポートセンターでは色々な資格を取得している方々が働いていて、保育士、栄養士、社会福祉士などの方々がいらっしゃいました。インターンシップでは体験するだけでなくそこで働いている方々へインタビューをする機会も頂き、沢山お話を伺うことができました。私は将来子どもに関わる仕事に就きたいと考えています。今回の実習で保育園や幼稚園の他にも子どもと関わる仕事があることを知り、将来の進路選択の参考になりました。この経験を活かして今後の学校生活や進路に繋げていきたいと思います。





部活動の記録

●陸上競技部（女子5,000Mm競歩）関東大会出場！
●水泳部（女子50Mm平泳ぎ）県1位！
●陸上競技部（男子走幅跳）県5位！
●卓球部（男子）県西優勝！
●バレー部（男子）県16位！
●バドミントン部（男子）県西優勝！

関東大会を振り返って（陸上部[競歩]）

根本　陽奈（2年　水海道西中学校出身）

私は北関東大会に出場してみて最後までやり通す粘り強さを学びました。初の北関東大会出場だったため、緊張のあまり当日に体調を崩してしまいました。その日が猛暑だったのに加え、体調が悪かったため過去に無いほどに辛いレースとなりましたが、応援してくれる両親やアドバイスしてくれた先輩方、先生のおかげで棄権することなく無事にゴールすることができて嬉しかったです。結果は自分が望んでいたものとは違いましたが、この経験は私の人生の中で大きな財産になりました。応援してくれる方々に感謝を忘れないようにしたいです。

試合に出場できることは当たり前ではないことを改めて実感したので、感謝を忘れずにこれからも精進していきたいと思います。秋の新人戦では県西、県そして関東大会があるので、関東大会入賞の目標を達成できるよう、そして体調が万全で試合に望めるよう精一杯頑張りたいと思います。

応援よろしくお願いします。

部活動を終えて（ハンドボール部）

光田　空樹（3年　水海道中学校出身）

この夏、私は三年間の部活動を終え、高校生活の一つの区切りとなりました。この三年間で多くの体験をし、様々な思い出となりました。悔しい経験や嬉しい経験も数多くありました。キャプテンになったばかりの頃は「自分なんかが最後までキャプテンをやり切れるのか」という責任やプレッシャーに押しつぶされそうになりましたが、最後まで頑張ってこられたのは同じ部活動の仲間たち、友達や先輩、顧問の先生方など、多くの人の手厚く温かいサポートのおかげだと思います。ここまで多くのものを残せたわけでも後悔がないわけでもありませんが、私が先輩たちに支えられてきたように私も誰かを支えることができていれば良いと思います。これからも周りに支えられているという自覚、感謝を忘れずに今後の人生を生きていきたいです。



「県大会出場までの道のり」（野球部）

下田　一心（2年 守谷中学校出身）

僕たちは新チームになって県大会に出場するまでに大きく成長することができました。

7月に三年生が引退して新チームが始まりましたが、スタートはあまり良い状態とは言えませんでした。キャプテンすらなかなか決まらず、練習や練習試合でも自分たちの特長である明るい雰囲気を作ることができませんでした。そこで、コーチやトレーナーと相談して毎日のウォーミングアップから取り組みを一新しました。またチームのみんなで練習メニューを考え、野球ノートを導入して毎日の記録を残し始めました。他にも年齢の異なる少年野球チームや大学生と交流することで、野球だけではなく人間的な部分も成長しました。

そして迎えた秋の大会、一次予選では実力差のある相手に敗れましたが、その反省をもとに個人やチームの課題練習を行なった結果、見事二次予選を突破して二年連続で県大会に進むことができました。県大会でも各地区の強豪校を相手に全力で勝利を目指します。



「大切な思い出」（水泳部）

小原　千夏（1年　高崎中学校出身）

私は、去年の夏が終わってから受験期で自分が納得するような練習が終わっても自分の調子を戻すことが中々できませんでした。そんな中迎えた県大会では、たくさん不安なことがありすごく緊張していました。でも、そんな中いつも一緒に戦ってきた仲間たちの応援が、緊張から自分の自信へと変わりました。そのおかげで100m平泳ぎで優勝、200m平泳ぎで3位、2種目とも関東大会への切符を獲得することができました。私が得意な100m平泳ぎで優勝できたことがすごく嬉しかったです。関東大会では良いパフォーマンスができずインターハイに行けなかった悔しい思いも私にとって大切な思い出になりました。たくさんの応援ありがとうございました。



夏季大会を振り返って（バドミントン部）

柴原　龍希（2年　御所ケ丘中学校出身）

私は先日行われた夏季大会でベスト16に入ることが出来ました。今までの大会では緊張や実力不足により上手く動けず思うような結果が出ず、とても悔しい思いをしました。1年生の頃は部活の練習などの意味を考えず、ただ何となくやっていた日々が続きました。2年生になり、考えながら部活を行うようにしてから少しずつ実力がつき、部内でも勝てるようになりました。しかし、自分のプレーに納得がいかない時などは苛立つ時もありました。そんな時は部活の仲間が励ましてくれたり、応援してくれたりとプラスになることをしてくれたおかげで今回のような結果が出たのだと思います。新人戦では県大会に出場できるように普段の部活からしっかり考えながら行い、頑張ろうと思います。また部活の仲間や先生方、応援してくれている家族など多くの人に感謝の気持ちを持って頑張ろうと思います。



練習風景（バスケットボール部[女子]）

椎名　愛生（２年　藤代中学校出身）

私が所属する女子部バスケットボール部は、2年生4名、1年生６名でマネージャー２名の計12名で活動しています。今年は県大会出場を目標にチーム一丸となって日々練習に励んでいます。練習は短い時間で集中して行い、質の高い練習を心がけています。先生にすべて教えてもらうのではなく、自分たちで考えて行うようにしています。辛い練習もありますが、部員同士で声を掛け合って乗り越えています。部員は少ないですが、先輩後輩関係なく仲がよく、切磋琢磨しあえる関係を築いています。部活動中だけでなく、学校生活でも挨拶や礼儀を大切にし、人から応援されるチームを目指しています。私たち女子バスケットボール部は目標に向かって日々精進しています。

バスケットボールが好きな方、少しでも興味のある方、大歓迎です。入部お待ちしています。